



Close・up 理事会

日時 7月30日(水)午後2時～

場所 宮私幼会議室

議事

- (1) 宮私幼災害見舞金交付要綱の一部改正(案)について
- (2) 平成20年度地区別設置者・園長会議資料について
- (3) 平成20年度地区別・設置者園長会議の出席者について
- (4) 第24回設置者・園長研修大会(全日私幼連主催)の役割分担について

その他

- (1) 養成校との懇談会の開催について
- (2) 7月1日開催の振興大会における募金(20,049円)について
- (3) 岩手・宮城内陸地震に対する東京都私立幼稚園連合会からの見舞金(50,000円)及び宮私幼からの見舞金について
- (4) 「ミャンマー大型サイクロン」、「中国四川省大地震」に対する義捐金について
- (5) 各委員会の活動状況について
- (6) その他

日時 平成20年10月23日(木)午後2時～

場所 宮私幼会議室

報告

- (1) 平成20年度設置者・園長会議の結果について
- (2) 「免許状更新講習実施団体」連絡会の結果について

議事

- (1) 公益法人新制度改革に伴う特別委員会の設置について

- (2) 第24回設置者・園長全国研修大会(全日私幼連主催)について

その他

- (1) 衆議院議員選挙について
- (2) 知事に対する陳情について
- (3) 平成20年度教育研究発表大会の講師について
- (4) 役員の忘年会について
- (5) 各委員会の活動状況について
- (6) その他

日時 平成20年12月12日(金)午後2時～

場所 宮私幼会議室

議事

- (1) 退職手当資金給付事業運営規則の一部改正(案)について
- (2) 公益法人新制度対応検討特別委員会設置要領の一部改正(案)について
- (3) 退職手当資金給付事業にかかる書式集(案)について
- (4) 平成21年度免許更新講習実施計画(案)について
- (5) 就職内定学生実習期間の傷害保険について
- (6) 平成22年度東北地区私立幼稚園教員研修大会(宮城大会)について

その他

- (1) 平成20年度教育研究発表大会の運営について
- (2) 各委員会の活動状況について
- (3) 平成21年度予算編成について(事業計画及び予算要求)
- (4) 平成20年度事業報告について(事業実績報告及び会議開催報告)
- (5) 平成20年度第2回総会日程及び平成20年度第5回理事会について
- (6) その他

スポットニュース

～仙台市が幼稚園型保育室の推進～

仙台市が幼稚園の空き教室を利用した認可外保育園の設置を推進しております。主な概要については次のとおりです。

- 定員 1歳～2歳児 12名(3歳になったら幼稚園へ)
- 開所時間 12時間(土曜日は11時間)
- 休園日 日曜日、祭日、年末3日、年始3日
- 職員 保育士(1週71時間開所)(有休無し)
常勤8時間2人 パート4時間3～4人

- 施設長 園長兼任不可
- 保育室 1歳児と2歳児は合同保育は不可
- 保育料 上限は53,600円
- 助成金 保育にかかる幼児1人あたり32,900円
現在、既に仙台市から打診があった幼稚園もあるようですが、運営費を市が試算した場合と現状とでは大きな違いがありそうで、今回の空き教室を利用した保育室ですが、慎重に検討する必要があります。
- 今後、仙台市以外の地域においても、保育所待機児童解消策として、同じような案件が起きるかもしれませんが、慎重に検討が必要であります。

第24回全日本私立幼稚園連合会設置者・園長研修大会

「明日に向けて私立幼稚園の振興を考える」

平成20年11月10日(月)・11日(火) ホテルメトロポリタン仙台

二日間の日程で行われた全日本私立幼稚園連合会設置者・園長研修会ですが、一日目には、開会式で吉田敬岳全日私幼連会長の挨拶、村山十五宮私幼理事長の歓迎の挨拶、ご来賓の祝辞、概要説明、感謝状贈呈などの後に記念講演がありました。

記念講演では、「100年企業に学ぶ、私立幼稚園経営の道筋」の題で宮城県出身の佐藤芳直氏から貴重な話を聴くことができました。

佐藤氏は100年企業の創造を提唱しておりますが、いかに100年続く幼稚園を作るか、いかにして保護者の方々に喜んでもらえる園になれるかに的を絞った講演であった。

(以下講演内容抜粋)

今まで3800社近い会社の経営者と関わってきたが、経営の成功は性格によって成し遂げられるものではない、成功というものは経営者の性格、高い理想が成功する理由の第一点。

高い理想は何か？

危機の時に目の前の事に着目するのか、期間を掛けて対処するのか

今、100年に一度の危機でもアメリカでは理想を追求した国民によりオバマ氏が大統領に選ばれた。

黒船来航の際、日本の危機の時、大変だと騒ぐ人々と黒船を造ろうとした日本人がいる。



■佐藤芳直 1958年宮城県生まれ。船井総合研究所に入社以来、経営コンサルタントとして経営の第一線で数多くの企業経営に携わった。2006年に株式会社S・Yワークスを立ち上げる。百年続く企業をメインテーマに、業種・テーマを問わず活躍中。その情熱的な手法に圧倒的なファンを持つコンサルタント。休日には鉄道、年に一度はアラスカへ熊の撮影に行くなど、写真撮影に対する情熱も熱い。



(開会式)

危機の時・・・

園の経営において、理想は何かと・・・。

例え、高くても、不便でも、あなたの園に子どもを託したい、そう思っただけの園を造る。①経営というのは、人材戦略という考え方。②経営は99%トップリーダーで決まるという考え方。

私は、先生にこう言う、あなたは結婚して先生を辞めますが、子どもたちには一生先生です、自分は一生先生と思えないのであれば今すぐお辞めなさい・・・。今、この瞬間にも、数十年前、子どもだった大人が、あなたの事を思い出す、結婚前までの就職場所にすぎないと思う先生は虚しいです。今、この瞬間、かつての教え子に思いを馳せるからこそ、今の自分の行動や姿勢、人生ということを深く考える必要がある。

幼稚園の経営者の方々は、その事をいかに強く、日々伝えうるかという事、幼稚園の経営というものは常にそういうものでなければいけない。

では、子どもに教えるとは、どういう事なのか？

人間というのは、ただ一人、ただ一つ、未来に恋をするものです、他の生き物は未来に恋をすることはありません。私はヒグマの研究の為にアラスカに行っていますが、ヒグマであっても未来に恋をしません。今は大変であっても、明るい未来の為ならば頑張ることができます。今がどんなに大変であれ、自分の人生の中で明るい先生と一緒に未来が見えれば頑張ることができる。経営者という者は、一言でいえば未来の想像し、この園の未来がどうなって、そして、



(熱心に聴講する先生方)

そこで働く先生たちの未来はどんなものかという事、明るい未来を語らなければいけない。

確かに、危機的状況はあります、経済危機は2012年まで好転する兆しは一切ないでしょう。少子化がどこかで改善されたためしはありません。あるいは、モンスターペアレント、荒れるお客様がもっと出てくるでしょう。言語の通じない子どもや親が出てくるでしょう。

しかし、その中であっても、自分たちの明るい未来というものを語らなければいけない。

先生の仕事というものは、なぜ、一生先生であるかというのは、先生の第一の仕事は、子どもたちに、まさしく明るい未来を与える事にある。語り聞かせる事により、その子の未来に語ってあげる責任があるのです。

皆様の園で働いていらっしゃる素晴らしい先生一人ひとりにとって、自分の園における人生の先行きが見えていなければ、明るい未来はありません。自分を愛せない人間は誰かを愛せることはありません、愛されていると実感の無い先生たちが子どもたちを愛情の羽衣で包む事はできません。

明るい未来というものが園にとって、どういうことかという事を先生方と共有するところ、ところに経営の本質があると思います。

では、明るい未来を考える上で、どんなプロセスが大事か・・・。

学ぶとは何か？「人たる所以を学ぶなり・・・。」

幼稚園の経営において、仕事とは人たる所以を学ぶ事、なぜ、幼稚園で仕事をするのか、なぜ、先生という仕事をするのか、それは、人間とは何かを学ぶ為なのか、なんで自分は人間に生まれてきたか・・・。それらの事を学ぶ為に幼稚園の先生になったんだよと皆さんが園の先生たちにお話しをしてください。

「学とはとは人たる所以を学ぶなり」とは吉田松陰の言葉ですが、こと言葉の中に学びの一步

上を示す幼稚園の本質があると思います・・・。

(以降、割愛しますが佐藤氏は他講演内容等のDVDを販売しています。)

佐藤氏のお講演会等から

そもそも人間、
誰もが役割を持って生まれてくる
家庭では
父とは子供に 人生の理想を伝えること
人生の憧れを伝えること それが役割であり
母とは子供に 人生の喜びを伝えること
人生の幸せを伝えること それが役割である。

そして、

働くとは、
自分の持っている役割を発見し
それを徹することである。
その役割を徹すると、
「生きるとはこういうことか！」
「生きていて良かった」と、
生の高揚を味わうことができる。

そもそも
人間は、誰かに喜ばれるために生まれてくる
人間が残せるものは生き様だけであり、
生き様とは誇りある人生である
誇りのないところに成長はない
誇りを持って働けば
後悔するようなことない

今日に後悔する人は、明日も後悔する
明日後悔する人は、一生後悔する

誇りを持ち 後悔のない今日を働く
そんな働き方をしている人は、
より良い人生を送る
より良い人生とは、意味のある人生
意味のある人生とは、喜びが溢れた人生
誰にも喜ばれることがないのは
充実感もなにもないのだから

人間だけが恋をする

未来を思うことができる
だから、今を頑張ることができる。

研究講座1・教育

私立幼稚園としての自己評価のあり方と進むべき方向を東重満教育研究委員長をコーディネーターとして、田中雅道教育研究機構副理事長、安達譲教育研究副委員長、安家周一連合会副理事長の三氏がパネルディスカッションを行った。



(研究講座1)

私立幼稚園は私立ではあるが公共性もあり、二面性を持つので、統一と多様性を大切に評価項目を設定したい。公共的立場では①教育要領が保育の中心に据えられているか。②教育の資質の向上に努めているか。③園児が在園中に廃園になることはないか。ということである。私立の立場では①宗教的情操を大切にする②教育方法はさまざまな選択が許される③幼稚園の独自性（建学の精神、スローガン）を尊重することである。いずれにしても評価項目を網羅し、幼稚園における学校評価ガイドラインを尊重した評価をすることである。

また、目標を立てる時に保護者アンケートを参考にすることも良いが、その時期や項目、記名の有無等を考慮し、プラスに働く方向で実施することが大切である。

研究講座2・振興

幼稚園・保育所の枠組みを超えた総合的な支援を行なう認定こども園の緊急整備を図るとして、平成21年度幼稚園教育関係概算要求の中に認定こども園幼保連携型移行・設置促進事業（新規）が盛り込まれた。そして、保育予算でも同様に概算要求された。そこで、この概算要求に当たった文部科学省初等中等教育局用事教育課長にその内容について説明していただき、その上で認定こども園幼稚園型、幼保連携型の設置者の方々と教育・保育・経営・事務面等についてパネルディスカッションを行い、すべての子どもたちが良質な幼児教育を受けられるため、「認定こども園」をひとつの突破口としてどのような幼児教育施設を選択しようとも、公的資金の投入や保護者負担が同等になるよう私立幼稚園の進むべき方向を探った。

パネリストには、濱谷浩樹（文科省初等中等教育局幼児教育課長）、村山十五（全日本私立幼稚園連合会副会長）、木村義恭（コロボックル



(研究講座2)

の森総合施設長)、コーディネーターに増田修一（全日本私立幼稚園連合会政策副委員長）

研究講座3・経営

冒頭コーディネーターの全日私幼経営研究委員長藤田喜一郎先生より、幼稚園の運営管理者にとって「危機管理」は重要だが、いざとなると返答に窮するのが実情で、今回自然災害（天災）と労務管理トラブル（人災）について、話題提供をいただき今後の運営に役立てていただきたい旨のお話があった。



(研究講座3)

初めに講師の宮城県危機管理対策課の山内豊氏より幼稚園の危機管理について、天災・人災などの対象事態を想定し、行政・医療との関係、ソフト対策としての訓練・研修、ハード対策として耐震化、情報、緊急地震速報の利用などについて話された。そして、防災・危機管理計画（マニュアル）作成の実例を上げ、その目的は園児と職員の生命・身体を守ることにあり、そのために、組織体制として対策本部、職員の役割、緊急連絡計画がある。危機管理事態への時系列の対応として①訓練などの事前の対応、②危機事態別（災害別）の緊急対応、③保育の再開などの復旧対応がある。次に危機事態対応の心得として、平常時での危機をイメージし、その対応をシミュレーションし、安全対策を実行する。事態発生時には、リーダーの意志決定と情報の関係、特に緊急時の情報の空白が発生するので注意すること。危機管理へのマネジメント手法として「鳥の目」（全般理解）、「虫の目」（細部確認）、「魚の目」（先読み）やタイムスケジュールに基づく活動の必要性が述べられた。危機事態の段階に応じる「対応ポイント」として、大きく発生以前のリスク・マネジメント（リスクに応じた対策）と発生以降のクライシス・マネジメント（危機管理）を想定した。前者には被害の抑止と軽減に係わる対策と危機の予知と予

測を設定、後者には情報の収集と伝達(情報の共有)、対応に係わる意志決定、対応行動として人命を守る・安全確保を最優先にする再発防止対策を設定する。その他、みやぎ防災教育基本指針「生きる力を育む防災教育」、防災学習プログラム「保育所・幼稚園編」について資料をもとに具体的に説明された。

続いて、平成16年10月23日の中越沖大震災の被災経験から「他人事ではありません。天災は忘れた頃にやって来ます！」と題して新潟県小千谷幼稚園園長船岡芳英先生より震災の生々しい写真やスライドを利用しながら話題提供をしていただいた。幸い、園児がいない時だったので、もし保育中だったらと思うとゾッとすると云われたことに対し、度々大小の地震に見舞われている私たちも他人事とは思われなかった。園児や教職員と地震当日・翌日は連絡が取れなかったが、3日目から教職員と共に自転車や徒歩で

園児の安否を確認した。最近、プライバシーを重んじ保護者の連絡先を教えない風潮があるが、緊急時に備えて園が把握する必要がある、それを保護者に理解してもらわなければならないことを痛感したとのこと。その後、フロアより緊急時の電話の確保、携帯電話の使用法や電源切れについて、また、園児の精神的な立ち直りの期間等の質疑応答があった。

「人災」として北海道第二太陽の子幼稚園園長豊田千春先生より最近各地で頻繁に立ち入り調査をしている労働基準監督署について、実体験を基に警鐘を鳴らされた。また、行事手当等は認められず、お泊まり保育を含めすべて残業手当にしなければならないとの発言もあった。最後に藤田先生が、立ち入りの大部分は内部告発によるものなので、女性の職場である幼稚園の人間関係を良好に保つことが大事であると結ばれた。

平成21年度 私立幼稚園関係予算案の概要

(単位：百万円)

区 分	前年度 予算額	平成21年度 予算額 (案)	比較増△減	備 考
幼児教育関係予算総額	53,854	55,145	1,291	約2.4%増

(単位：百万円)

区 分	前年度 予算額	平成21年度 予算額 (案)	比較増△減	備 考
1. 幼稚園就園奨励費補助	19,212	20,397	1,185	約6.2%増 ※20年度→21年度
<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園の補助単価の引き上げ【5%増】 I 生活保護世帯・市町村民税非課税世帯 146,200円 → 153,500円 (7,300円増) II 市町村民税所得割非課税世帯 110,800円 → 116,300円 (5,500円増) (年収290万円以下) ※ III 市町村民税所得割課税額 (34,500円以下) 84,200円 → 88,400円 (4,200円増) (年収360万円以下) ※ IV 市町村民税所得割課税額 (183,000円以下) 59,200円 → 62,200円 (3,000円増) (年収680万円以下) ※ ※年収は夫婦と子ども2人の場合 ・第2子移行の保護者負担の軽減 【第1子の保護者負担割合を[1.0]とした場合】 (兄・姉が幼稚園児の場合) 第2子 : [0.7] → [0.5] (半額) 第3子以降 : [0.2] → [0.0] (無償) (兄・姉が小1～小3の場合) 第2子 : [0.9] → [0.9] 第3子以降 : [0.8] → [0.0] (無償) 				
2. 幼稚園教育内容・方法の改善充実	20	36	16	1. 幼稚園教育理解推進事業 (新規) 36百万円
3. 幼児期からの「人間力」向上総合推進プラン	76	82	6	1. 幼児教育の改善・充実調査研究 76百万円→82百万円
4. 私立幼稚園施設整備費補助	1,108	1,097	△11	※平成20年度1次補正予算 1,425百万円 平成20年度2次補正予算案 964百万円 ※公立幼稚園施設整備費については「安全・安心な学校づくり交付金」の内数 74,867百万円→75,068百万円
5. 認定こども園幼保連携型移行・設置促進事業 (新規)	0	—	—	※平成20年度補正予算で前倒計上 (金額は、文科・厚労合算額) ・平成20年度1次補正予算 2,147百万円 ・平成20年度2次補正予算案「安心こども基金 (仮称)」 (1,000億円) の一部
6. 私立高等学校等経常費助成費補助 (幼稚園分)	33,438	33,533	95	
(ア) 一般補助	26,107	26,196	89	
(イ) 特別補助	7,331	7,337	6	1. 子育て支援推進経費 4,625百万円→4,617百万円 ・預かり保育推進事業 3,475百万円→3,467百万円 ・幼稚園の子育て支援活動の推進 1,150百万円→1,150百万円 2. 幼稚園特別支援教育経費 2,706百万円→2,720百万円

注) 百万円未満四捨五入のため差額や合計が一致しない場合がある。

研修をふりかえる

研究委員会

今年度の研修は「研修ハンドブック」の俯瞰図に示されているカテゴリの中から研修内容を選び実施しました。

・新任教員研修会 7月24日・25日……………110名

1日目は、「新任教師の心構えについて」「幼児の成長について」の講話、グループに分かれての課題別討議、夕食後にグループ代表の報告会を行いました。

2日目は「幼児安全法」について赤十字社職員の講話と実技指導で実り多い研修でした。

・中級者研修会 7月29日……………84名

聖和学園短期大学小野真喜子先生より「望ましい教師の姿」について資料をもとに具体的に指導していただきました。午後は課題別のグループに分かれて討議を行いました。

・未満児保育研修会 7月29日……………50名
 予め4名の方に話題提供をお願いし、実践例を話していただき、全員で未満児の保育の在り方について情報交換を行いました。

・10年経験者研修会 8月7日……………123名
 宮城学院女子大学足立智昭先生より「特別支援教育」全般について詳細な資料を基に講話をいただきました。

午後はグループに分かれて「望ましい教師の姿」「発達の理解」「保護者への対応」について討議しました。

3月24日は教育研究発表大会、皆さんで研修を深めましょう。

来年度は教育要領の改訂、免許更新制の導入などへの対応、また、平成22年度東北地区研修大会宮城大会に向けての準備もあります。地区研修をより充実させ宮城大会に繋げることができそうです。皆さまのご協力をお願いいたします。

地区別設置者園長会議の報告

経営委員長 横澤行夫

地区名	開催月日	開催会場	参加人数
仙 台	8月8日	旭ヶ丘市民センター	82名
仙 南	18日	熊野幼稚園	12名
気仙沼登米	19日	南三陸ホテル観洋	10名
名取・岩沼	20日	竹駒神社参集殿	10名
塩釜多賀城	21日	グランドパレス塩釜	20名
大崎・栗原	22日	レストランスギヤマ	11名
石 巻	23日	石巻グランドホテル	18名

8月に全7地区において、設置者園長会議が、上記の日程にて開催されました。各地区長並びにご出席の皆様、お世話様でした。

20年度の実態調査の集計結果（園児納入金、初任給等）について、経営委員より報告があり、それにもとづき、21年度の園児募集の件、保育料等納付金の件、初任給等教職員の待遇の件等申し合わせ事項を、協議していただきました。

宮私幼からの提案の「今年は、園児募集開始を10月1日よりとし、昨年より1ヶ月遅らせた。受付は11月1日より始める。」を全地区ご承認いただきました。他の申し合わせ事項につきましては、それぞれの地区の実態に合わせて、共通理解をしていただきました。

また、宮私幼の各委員会よりの報告及び懸案事項の話もありました。

村山理事長は、全日本私幼連の副会長に就任したことにより、全般の動きを把握する立場にありますので、私たち会員にとって新鮮な情報を、いち早く伝えて頂くという利点があり、この会議においても、お話をしていただきました。

教員免許更新制度が、いよいよ21年度よりスタートしますが、宮私幼が受け皿となり、講習の日程及び内容を計画し、文部科学省に申請していきたい。また、連合会の公益社団か、一般社団かの問題は、5年間の間に結論を出さなくてはなりません。全国の情勢を見ながら宮私幼に検討委員会を置き、そこで協議していきたい等のレクチャーがありました。

養成校との懇談会

平成20年8月21日(木)仙台ガーデンパレスにて養成校と宮私幼との懇談会が行われました。養成校側から県内10校13名、県外5校6名と宮私幼側から理事長はじめ副理事長・常任理事と総務・給付、経営、広報担当理事6名が出席し合計33名の参加でした。

吉岡弘宗常任理事の司会で始まり、村山十五理事長の挨拶の後、養成校側を代表して宮城学院女子大学発達臨床学科長：足立智昭先生から挨拶をいただき出席者の自己紹介となりました。そして議題に入り「宮私幼の現況について」「就職内定学生の傷害保険加入状況について」は理事長より詳細に説明がされました。続いて、養成校側から現況報告と宮私幼への要望、宮私幼からも現況説明がありました。なお、主たる話題となりました事項は次の通りとなります。

- 養成校側からは、
- 指導計画書やクラス便り等文章を書くことが多いので漢字の指導を行っている。
 - 充実した学生の教育と幼稚園一種免許状取得のため4年制大学にする傾向が見られる。

○採用の時期、採用内定の研修期間について。

○男性教諭の採用が少なく就職が難しい。

○教育実習受け入れ時期と実習内容についての要望。

宮私幼からは、

○新任教諭の文章には誤字脱字もあり、ぜひ漢字指導をしていただきたい。

○園の事情により採用が決まる。

○各園の年間計画や行事等で実習生を受け入れる時期がどうしても限られる。

○実習時の指導案作成については、実習期間にしっかりと書き方を学んで頂きたい。

○平成21年4月からの教員免許更新制の実施により宮私幼も、土日や夏休み期間中に免許更新講習を実施する。

養成校と現場側との相互理解を深めるために、よりたくさんの具体的なディスカッションが出来たように感じます。このような懇談会をもつことの大切さを改めて感じた時間でした。ご参加いただいた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

第23回東北地区私立幼稚園教員研修大会〈山形（鶴岡）大会〉

～ 大会主題：希 NOZOMI ～ あなたは子どもたちに何を伝えたいと望みますか ～

平成20年10月17日・18日 鶴岡文化会館（全体会）、東京第一ホテル鶴岡（分科会）

“庄内平野”の中心地に当たる鶴岡市で表題の大会が開催されました。公開保育は7園、注目の免許状更新予備講習を含む分科会は10のテーマのもと活発に行なわれました。

第2分科会場となった「鶴岡幼稚園」は、創立が明治39年で103年の伝統を誇る幼稚園です。園庭には樹齢数百年のけやきが聳え立ち、見守られるように遊びに熱中する園児らの姿が生き生きとしていました。「生きる力」の基礎を培うために、「遊ぶ力」を育もうと、子ども達が五感を働かせて多様な遊びに熱中できるような環境設定が、そこかしこにちりばめられており、そこで遊びを展開する子ども達と、歴史の重みを感じさせる園舎と園庭の絶妙なバランスがとても印象的でした。

今大会の最大の目玉である、養老 孟司先生の記念講演は、鶴岡市文化会館で行なわれました。演題は『子どもたちに夢と“のぞみ”を』… 山伏の吹き鳴らすホラ貝に迎えられた養老先生は、開口一番「私の話すことは、ホラが多いからあまり信用するなということでは…」と、ユーモアたっぷりに話し始められました。小学校2年生で終戦を迎えたので、幼児期は戦争の真っ只中。鎌倉で軍靴を耳にしながら育った。大きくなったら何になるとの問いに「兵隊さん」と答えるのが喜ばれる時代だった。しかし、どんな時代でも変わらないのは、子供達はどんな時でも夢や希望を持つが、「それは無理だ!」「それはダメだ!」と大人が決め付けて否定しまう風潮は変わっていないように感じる。

自分は医者であるが、意識することと脳の働きについてずいぶん探究してきた。現代は生命科学の飛躍的な進歩で、DNA（遺伝子）がその人間の個性を作ることが解明されている。生



まれ持ったものを変えるのは非常に難しい。自己評価するということが最近注目されているようだが、自分を評価してくれるのはあくまでも他人である。例えば“先生”は、学ぶ側がその人をどのように先生とってくれるかで決まってくるようなものだ。

また情報化時代でもある。皆さんはニュースをご覧になると思うが、ニュースを見たり聞いたりした後は、「でも済んでしまったことだ。」と唱えると良い。時間が経っても変化しないものを情報と言う。インターネットの中でもテレビでも、その中のニュースという類はすべて一旦情報化されれば過去のこととなる。

自分が世界を変える、というようなことを言う人がいるがとんでもない。世界を変えるのではなく自分が変われば良いのだ。だから“のぞみ”を持つということは、「自分を固定化しないこと」が肝要なのだ。私も自分の女房には敵わない。だからといって、お前が変われと言うつもりもない。なぜなら、言えばその数倍数百倍になって自分に返ってくるから。だから私が変われば良いのだ、と思いそのようにしている。

以上概要を端的に紹介しましたが、理論に裏付けられたお話しに、笑いあり感動ありの楽しく有意義な講演会でした。

幼 な 子 と と も に

幼稚園訪問記・築館聖マリア幼稚園



〒987-2252 栗原市築館町薬師4丁目7-8
園児数 81名 4クラス
(年少 26名、年中 31名、年長 24名)

今回は、県の北西部に位置し、平成17年に栗原郡全10町村（築館町、若柳町、栗駒町、高清水町、一迫町、瀬峰町、鶯沢町、金成町、志波姫町、花山村）が合併し、県内最大の総面積となった栗原市にあります築館聖マリア幼稚園にお伺いしました。

昭和23年に聖マリア愛児園として発足、昭和31年に築館聖マリア幼稚園と改称し現在に至り、広大な地域をカバーする幼稚園としての諸々のお話しと、昨年6月に発生した岩手・宮城内陸地震の被害のお話を伺うことができました。また、卒園児には有名人も多く、園歌は「山口さんちのつとむくん」で有名な“みなみらんぼう”さんに作っていただいたそうです。



園長 横島健二先生

築館聖マリア幼稚園では

- 保育時間
9:00~14:00
- 預かり保育
14:00~18:30
(夏季・冬季・春季休暇中も実施)
- 給食
月、水、金曜日は給食となり、牛乳休職は毎日実施しております。その他はお弁当になります。
- 未就園児教室
年22回実施しております。
- 満3歳児は年の途中から入園可能。
- 特色教育
 - ・週1度歌やゲームで楽しみながら英語に親しみ学びます。
 - ・クッキーやケーキづくりなどに園児たちがチャレンジします。
 - ・苺狩りや野菜の育成、土とのふれあいと収穫の喜びを学びます。

<地震の被害は・・・>

立っていけないほどの大きな揺れでしたが、発生が土曜日だったこともあって幼稚園では、人的被害や園舎にも大きな被害はありませんでした。ただ、教会の方はだいぶ傷んでしまい修繕をおこないました。

<通ってくる子どもたちは・・・>

広範囲な地域から子どもたちは登園して来ています。昨年よりバスも運行しておりますが、送迎走行距離が片道140Kmと長くて時間的に大変です。

栗原市には、公立幼稚園が22園も存在しており、築館でも町中心部から離れている園児は、県内一安い保育料(3,500円)ということもあり4,5歳になると公立幼稚園へ移る子もおります。

また、昨年から公立保育所では、第2子が入所する場合の保育料が無料になったこともあり、私立幼稚園、公立幼稚園と公立保育所の競合問題が増えています。



<特に力の入れている教育等がありましたらお聞かせください>

幼児たちがキリストの愛に生かされ、神から与えられた心身の能力を最大限に生かしながら、個性を豊かにし、主体性に行動できる人間となることを願い、その基礎育成を目指しております。

人間には、素晴らしい能力、素晴らしい自然が与えられていることを踏まえ、価値ある人生を送ることができるために、神を、隣人を、自分をそして自然界を大切に育てることが本園の教育方針です。

- 神と人と自然を大切にする子ども
- 主体性のある子ども
- 心も体も健康で明るい子ども
- 創造性豊かな子ども
- 思いやりと感謝の心を持つ子ども



幼稚園創立50年 そしてこれから

七郷学園 学園長 宮城 泉 三

七郷学園は平成19年に創立50周年、法人認可30年を迎えました。

この節目の時にあたり、50年をふりかえって見ますと、この地域は純農村地帯で人々は営々と農業に従事しておりました。そのような中で、当時の七郷小学校のPTAの役員から、小学校入学前の一年間だけでもよいから、保育してくれる所があればという声が出ました。

その相談にのって下さったのが、校長先生と仙台市当局です。その結果、七郷小学校の二教室を借り受けこじんまりと、幼児学級が開設されたのです。砂場も遊具も小学校と一緒にです。全くゼロから出発でした。

このように、七郷学園は他の私立幼稚園とは少し異なる生まれ方をしたのですが、年々入級希望者がふえ、開設10年後には、幼児学園に発展する事ができました。その資金は地域各戸から寄付に依ったと記録されております。

更に10年後の創立20周年には、この幼児学園を仙台市立に移管する事を願い出ましたが、それはかなわず、宮城県当局・私立幼稚園連合会のご指導により、自立経営の道をえらび、学校法人の道を進むことにしたのです。



創立50周年記念式典「教員の喜びのうた」



七郷幼稚園園舎

このような沿革は、今日の七郷学園の姿に少なからず影響を与えていると思います。

「地域立」と言われる七郷学園は、地域のすべての子どもを入園させるとの方針の下、七郷幼稚園と更に六丁目、蒲町の二園を開園し、地域の幼稚園としての体制をつくりました。

この間、経営に関わった方々の努力・支援した住民各位のご好意には感謝の他はありません。

「地域立」と称させる本学園ではありますが、今、当地域は、開発事業の最中で急速な都市化の中にあります。又少子化の中で適正な園児の確保にも苦心しております。

しかし、このような時であるからこそ、学園創設の原点に立ちかえり、当時の諸先輩の思いをわが思いとすべきです。そして今、幼稚園に求められている責任を自覚し、冷静な判断で、今後の学園教育得経営の方向を見定めていく時と深く考えております。

五十周年記念式典におきまして、宮城県私立幼稚園連合会理事長・村山十五様、仙台市私立幼稚園連合会会長・三塚百合子様からは、この50年を節目とし、更に地域の方々に見守られながら、子ども達の為に、地域から愛される幼稚園として発展されるようにとのありがたいご祝辞をいただきました。

この事を肝に銘じ新たな気持ちで望ましい幼稚園づくりをすすめる責任を強く感じているこの頃であります。

平成20年度全日本私立幼稚園連合会 102条園研修会

平成21年2月13日アルカディア市ヶ谷で毎年実施されています102条園研修会、吉田敬岳全日私幼連会長の挨拶の後、「教員免許更新および自己点検・自己評価」について、最新の資料を基に田中雅通全日私幼研究機構副理事長から講演がありました。続いて、「幼保一元化の現状と課題」について、八代尚宏国際基督教大学教授より講演があり、元内閣府経済財政諮問会議議員であった立場から幼保一元化と二重行政解消、子育て支援の拡充、認定こども園の改革、子育て費用を家族だけでなく社会全体で負担するという育児保険の提言などのお話があった。特に育児保険は介護保険と似たような仕組みのようで、子育てを税金だけに頼るのではなく、社会全体で行うというもの。少子化対策にもなりそうですが、介護保険導入時のようにいくものなのか今後の動向を見守りたい。

宮城県知事に陳情

平成21年度予算が組まれようとしている1月13日に、宮私幼PTA連合会役員、宮私幼振興対策協議会、宮私幼常任理事の計16名が「平成21年度私立幼稚園に対する補助金等に関する陳情書」を携えて村井嘉浩知事に陳情に行ってきました。陳情内容は例年と変わりませんが、その要旨は、

1. 各幼稚園に対する運営費補助金は、今後とも国が示す額まで増額していただきたい。
2. 宮城県私立幼稚園連合会の退職手当金給付事業に係わる補助金を、設置者掛け金の2分の1相当額(1,000分の32)まで引き上げていただきたい。
3. 私立幼稚園に対する子育て支援活動に係わる補助制度を新設していただきたい。の要望を行いました。

陳情には宮私幼PTA会長宮城県議会議員渥美巖氏、宮私幼PTA副会長宮城県議



お知らせ

※ 新年度に園長名などの変更が発生した場合
宮私幼HP幼稚園紹介ページ用Webコンテンツ修正票を事務局に請求してください。



会議員中島源陽氏、宮私幼PTA常任委員長寺澤正志氏にも同行していただき、強力な支援をしていただきました。理事長、対策協議会会長、PTA会長が陳情の主旨を強く訴え、それに対し、知事は県の財政が厳しい中、1と2については善処するが、3については今の財政では余裕がないとのご返答をいただきました。

また、お母さん代表として長谷川幸さん、高橋尚美さん、石垣由理さん、そして「園児代表」の高橋一徳君も同席し、各県の補助額のばらつきが保育料、即ち保護者負担の格差につながっている実情をお話し、知事に補助金の増額を強く訴えました。

その後、県議会議長高橋長偉氏を訪ね同様の要望を行いました。議長は人材育成こそが我が国の発展に必要で、議会としても財政が厳しい中これ以上低下しないように努力したいとのお返事をいただきました。

訃報

10月24日 くり幼稚園 全理事長 高橋正八先生
2月27日 岩切東光幼稚園 名誉園長 吉岡律子先生
2月28日 やまと幼稚園 設置者 佐藤うめ先生
謹んで先生方のご冥福をお祈りいたします。

【表紙によせて】

雪で遊ぶ築館聖マリア幼稚園の子どもたち

編集後記

宮私幼だより128号をお届けします。お忙しい中、貴重な原稿をお寄せいただき誠にありがとうございました。さて、平成20年度も残り僅かとなりました、年長の子どもたちには、卒園式までの数日間、事故や怪我など無く、園生活を過ごしてしてほしいです。ただ、100年に一度の金融危機による不況、一向に回復する兆しささえ見えず、景気回復の手段さえ見つかっていない中、ますます幼稚園に入りたいけど、保育園に入れて働くお母さんが増え、幼稚園児不足に拍車がかかり、園経営も危機的状態になるのではないかと危惧しているのは私だけなのでしょうか？

(菱(-_-;))